

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成27年4月)	該当なし	—	
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年△△月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年□□月)		〇〇意見	
設置計画履行状況 調 査 時		〇〇意見	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<グローバル・コミュニケーション学部>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況【資料1参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学的な組織として、教育開発センターのもとに、学部FD部会を設置している。（学部委員1名） ・全学的な組織として、自己点検評価委員会のもとに、自己点検評価小委員会を設置している。（構成員3名以上） <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検評価小委員会は、2か月に1回以上開催予定。 ・学部FD部会は、今後原則毎月1回開催。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検評価小委員会 グローバル・コミュニケーション学部が所管する事項について点検・評価を主体的、かつ、具体的に実施するための事項。 ・学部FD部会 教育の質向上及び教育の改善を図るために行う活動を支援するための事項。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己点検評価小委員会「中間報告書」「年次達成度報告書」 ・学部FD部会「FDセミナー、FDワークショップ企画」「授業改善アンケート」「学生とFD部会委員との懇談会」「新任教員ガイダンス（教育開発センター主催）」「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル・コミュニケーション学部の自己点検評価小委員会を、今後細則に従い開催予定である。 ・学部FD部会主催の「FDセミナー、FDワークショップ」「授業改善アンケート」「学生とFD部会委員との懇談会」については、全学的に実施のため、グローバル・コミュニケーション学部においても学部FD部会の指示を得て実施する。「新任教員ガイダンス（教育開発センター主催）」については、教育開発センター所長・教務センター所長から、グローバル・コミュニケーション学部新任着任教員に対し、教育全般に関する事項について説明を受けた。「FD予算の割り当てによる学部FD活動の推進」については、今後、グローバル・コミュニケーション学部において学部FD活動において有効に活用できるように、計画する。具体的には5月末に2日間にかけて「外国語による教授法の理論と実践」をテーマに「FDセミナー」を開催する。これにはグローバル・コミュニケーション学部専任教員全員が参加する予定である。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・グローバル・コミュニケーション学部の自己点検評価小委員会の本格的な取り組みは未実施であるが、今後認証評価機関が定めた大学評価基準に基づいて、小委員会を開催予定である。
- ・学部FD部会の案内により「FDセミナー、FDワークショップ」「学生とFD部会委員との懇談会」に参加予定である。
- ・グローバル・コミュニケーション学部も「授業改善アンケート」を実施予定である。
- ・「新任教員ガイダンス（教育開発センター主催）」については、グローバル・コミュニケーション学部の新任教員全員参加であった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・いずれも、これからが授業改善のための取り組みとなる。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・授業改善アンケートは、前期末と後期末に実施する予定。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・公開状況と方法等については、教育開発センターの方針に従うことと、グローバル・コミュニケーション学部においても検討予定。

（注）・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（3）自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

（資料2のとおり）

② 自己点検・評価報告書

【全学】

教育研究活動等の状況について自ら点検・評価を行い、その結果を公表することを学則、大学院学則に規定している。本学の自己点検・評価を司る組織として、自己点検・評価に関する基本的な事項を審議し決定する自己点検評価委員会を設け、そのもとに各組織にかかる事項の自己点検・評価を実施し、当該報告書を作成するために、30以上の自己点検評価小委員会を置いている。

さらに、自己点検・評価の内容等を第三者的な立場で検証するため、学外の学識経験者を構成員に含んだ自己点検評価結果検証委員会を設置するなど、体制を充実させ、積極的に自己点検・評価に取り組んでいる。

具体的には、平成24年法人創立100周年を機に平成25年度から5年間に実施する施策をまとめた「中期行動計画」の年度毎の進捗評価を、「年次達成度報告書」でもって行うことを自己点検評価委員会で決定し、自己点検・評価を実施している。

なお、平成24年度の自己点検・評価をとりまとめた「2012年度改革・改善報告書」において、改革・改善が完了していない項目についても、「年次達成度報告書」でもって自己点検・評価を行った。

平成25年度、平成26年度ともに各年度の「年次達成度報告書」で自己点検・評価を行った。平成25年度の自己点検・評価の結果については、平成26年度に本学のホームページ上で公表を行った。平成26年度の自己点検・評価の結果の公表については、次項のとおり公表を行う予定である。

【グローバル・コミュニケーション学部】

グローバル・コミュニケーション学部の所管する事項についての具体的な施策を、「中期行動計画」として定めた。自己点検評価委員会もとのグローバル・コミュニケーション学部自己点検評価小委員会にて、その実施状況等に関する自己点検・評価を行い、「年次達成度報告書」としてまとめる。

a 公表（予定）時期

【全学】

平成26年度の「年次達成度報告書」は、自己点検評価結果検証委員会において検証され、検証結果に基づき各自己点検評価小委員会にて加筆・修正するなど学内手続きを経て、平成27年度内に公表する。

【グローバル・コミュニケーション学部】

グローバル・コミュニケーション学部の「年次達成度報告書」も全学的な「年次達成度報告書」の中に組み込み、検証のうえ、公表する予定である。

b 公表方法

【全学】

大学ホームページ上で公表する。

【グローバル・コミュニケーション学部】

大学ホームページ上で公表する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

【全学】

認証評価（公益財団法人大学基準協会）を2018年度に受審する予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成27 年 7 月 1 日)